

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団体名	桃山学区防災ミーティング																						
まちづくり活動名	地域の連携協力による防災力強化と助け合いの環境づくり																						
活動地域	桃山学区全域																						
活動の背景	<p>私たちが住む地域に南海トラフ大地震等による災害が起きたとき、災害への備えが十分でないことや、高齢化の進展により地域を守るための活動ができない心配があります。</p> <p>桃山学区防災ミーティングは、防災活動を通じて地域をつなぐ「連携の輪」の役割を担っており、話し合いによる防災活動を行っています。</p> <p>当初は学区内の町内会の自主防災活動の連携と強化、助け合いの仕組みづくりから始まり、現在は、学区全体の防災計画や防災訓練の企画、運営も担当しています。</p>																						
目的・目標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 40%;">活動目的</th> <th style="width: 30%;">目標</th> <th style="width: 25%;">成果（期待）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>防災関係者が地域の防災について話し合う場所を作る</td> <td>ミーティング（全体、個別）の定時開催</td> <td>防災関係者の相互理解と課題解決</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>地域全体の防災計画や活動マニュアル整備</td> <td>学区の合意として地域防災計画を取りまとめる</td> <td>活動の大枠を整え、学区内の足並みを揃える</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>防災訓練や研修、活動の継承により備えを固める</td> <td>実践的な防災訓練の実施と次年度への確実な引継ぎ</td> <td>災害が起きたときにも活動可能なレベルに到達</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>日常的な防災活動の中で助け合いの環境をつくる</td> <td>災害時の活動に「助け合い」を位置づける</td> <td>「助け合い」意識の定着</td> </tr> </tbody> </table>				活動目的	目標	成果（期待）	1	防災関係者が地域の防災について話し合う場所を作る	ミーティング（全体、個別）の定時開催	防災関係者の相互理解と課題解決	2	地域全体の防災計画や活動マニュアル整備	学区の合意として地域防災計画を取りまとめる	活動の大枠を整え、学区内の足並みを揃える	3	防災訓練や研修、活動の継承により備えを固める	実践的な防災訓練の実施と次年度への確実な引継ぎ	災害が起きたときにも活動可能なレベルに到達	4	日常的な防災活動の中で助け合いの環境をつくる	災害時の活動に「助け合い」を位置づける	「助け合い」意識の定着
	活動目的	目標	成果（期待）																				
1	防災関係者が地域の防災について話し合う場所を作る	ミーティング（全体、個別）の定時開催	防災関係者の相互理解と課題解決																				
2	地域全体の防災計画や活動マニュアル整備	学区の合意として地域防災計画を取りまとめる	活動の大枠を整え、学区内の足並みを揃える																				
3	防災訓練や研修、活動の継承により備えを固める	実践的な防災訓練の実施と次年度への確実な引継ぎ	災害が起きたときにも活動可能なレベルに到達																				
4	日常的な防災活動の中で助け合いの環境をつくる	災害時の活動に「助け合い」を位置づける	「助け合い」意識の定着																				

活 動 内 容	<p>桃山学区内の全町内会と学区防災本部、関係団体等が参加して防災関係の話し合いをする場所が桃山学区防災ミーティングです。</p> <p>大きなテーマとして地域共通の防災計画を整備して、活動内容を示す防災マニュアルを作る作業があります。</p> <p>これには、町内会や関係団体は夫々異なる意見や課題を有しているため十分な話し合いにより受入れ可能な内容に調整することとしています。</p> <p>災害への備えを実践的な内容とするために、防災訓練と反省会を組み合わせ随時見直しを行い、有効な活動計画にする取り組みも進めています。</p> <p>学区内の関係団体（消防団、民生委員会、連絡協議会等）と連携して学区本部、指定避難所の開設運営活動を確実にできる様にする取り組みもしています。</p> <p>また、町内会や関係団体の役員が一年交代のために、防災活動のノウハウ継承が難しいことへの対応として引継ファイルの配付、説明会や話し合い等を行っています。</p>	
活 動 予 定 期 間	令和3年4月 ～ 令和4年3月	
助 成 金 交 付 申 請 額	10万円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か 	
1. 地域に根ざしたまちづくり活動内容か	地域防災計画づくりの場合、町内会によって異なる意見や問題意識を吸い上げるなど、地域の状況を大切に活動しています。	
2. 自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か	防災活動を通じて地域に「助け合い」を根づかせることをめざしており、更に高齢化が進んでも助け合えるまちづくりのための活動になっています。	
3. 活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か	活動開始4年目ですが、足並みが不揃いな現段階では参加団体への支出要請は困難であり、活動維持のために助成金が不可欠な状況です。	
4. 活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か	学区内の全町内会と関係団体が参加して活動しており、理解を得て賛同いただいているものの、今の段階では確固とした存在とは言えません。	

審査基準② <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的にになっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か 実現性	
1. 活動内容が具体的に なっているか	前年度に引き続き、「話し合い」「防災計画」「防災訓練」「引継ぎ」を柱にした計画で活動していますが、コロナウイルス感染動向によっては変更もあり得ます
2. 活動内容の資金計画などは妥当か	コロナウイルス感染対策として、話し合い人数の制限とウイルスの飛散防止用具の配置及び広報、資料説明を充実させることを考慮しています
3. 人員や規模などは妥当か	活動の展開、継承のためには多くの人に関わって貰う必要があるため、関係団体や関心を持つ人たちに積極的な声掛けをして裾野を広くするアプローチをしています

審査基準③ <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか 発展性	
1. 今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか	活動開始後4年目を迎えて活動の仕上げ期に届く予定だったがコロナ禍により大幅な遅延が生じている、2年後には「地域を包括する防災組織」として、組織力、人材力、資金力を有する活動に育てることにしています
2. 活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか	「助け合いによる防災活動」は地域内の他の活動(防犯、環境、見守り、養育等)への展開が期待できるので、活動を継続することで、地域全体の助け合い環境づくりに役立つと考えています

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

緑消防署	防災訓練の指導、講習会等での説明、自主防災活動についての助言をいただいています
緑区役所	学区・本部、避難所開設、地域防災計画づくりに向けての助言をいただいています

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

年	月	活動項目	活動内容
2021	4	連絡名簿、連絡系統を整備	学区、町内会の防災担当者名簿を整備して災害時に連絡が取れる様に整備する
	5	全体ミーティング①(5月7日)	顔合わせ、情報伝達・立上げ訓練の説明、地域防災計画の説明他
	6	防災訓練(6月6日)	コロナ禍に対応して電話連絡と防災拠点立上げ訓練
	7	個別ミーティング	町内会及び関係団体打合せ(地域防災計画)
	8	個別ミーティング	町内会及び関係団体打合せ(地域防災計画)
	9	防災研修会	学区内の防災関係者を3グループに分けて実施(町内会、学区本部、避難所の3グループ)
	10	全体ミーティング②	総合防災訓練に向けた打合せ 地域防災計画のとりまとめに向けた意見交換
	11	総合防災訓練	町内会の防災活動、学区本部の活動、避難所の開設運営、全世帯安否確認を行う総合防災訓練
	12	全体ミーティング③	防災訓練の反省会、地域防災計画の調整
2022	1	個別ミーティング及び学区内調査	地域防災計画の調整 防災拠点、防災施設(避難所、給水所など)調査
	2	全体ミーティング④	地域防災計画の取りまとめ 次年度計画づくり、引継ぎ準備
	3	防災調査、引継ぎ準備	次年度への引継手続き

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出 (予算) をご記入ください。

費目	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)	
手引きの費目を参照				
まちづくり活動助成金 (申請金額)				
※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。			100,000	
※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				
活動経費の内訳	物品費	個別ミーティングで使用 (話合いの机上に設置)	飛沫防止卓上パーテーション @3000円×12個=36000円	36,000
	物品費	防災訓練、研修会等で使用 (防災責任者用)	バイザー(簡易キャップ) @500円×30個=15000円	15,000
	賃借費	個別ミーティングで使用 (町内会・プレゼン用)	プロジェクター @17000円×1回(2週間)=17000円	17,000
	賃借費	全体ミーティング会場 (コミセン2階会議室)	桃山コミセンの会場使用料 @2000円×3回=6000円	6,000
	印刷費	資料、引継ファイル等作成 (コミセン印刷機を使用)	NEWS、引継ファイル、資料印刷費 ①NEWS 関係者用 (@5×200人×8回)=8000 世帯用 (@5×3000世帯)=15000 ②引継ファイル(18頁×30冊) (@5×30頁×30冊)=4500 ③資料 全体 @5×8頁×30部×3回=3600 個別 @5×6頁×60部×3回=5400 世話人@5×4頁×10部×6回=1200	37,700
支出合計			111,700	